

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

基本目標1 若者の地元定着と移住の促進を図る。

	指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
全体の数値目標 (KPI)	若者(15～39歳)の社会増減数(転入者数－転出者数)	平成27年度から平成31年度までの5年間で △65人 (住民基本台帳における平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値 △48人)	住民基本台帳	△63人	—

1 若者が誇りを持てる「しごと」を創生する。

(1) 朝日町の商工業への就職を促進する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
①町の行政、商工会、観光協会、金融機関等による連携組織を立ち上げ、助成金、融資、小口投資・寄附等を組み合わせながら、ワンストップで次に掲げる支援を行う。			
ア 町内企業等の魅力を広く伝えとともに、町内企業等への就職を促す。			
就職相談及び無料職業紹介を実施する。	検討中		連携組織を立ち上げ、ワンストップ窓口相談があった場合は、ハローワークや事業振興協議会につなぐ体制を構築する。
町内の企業ガイドを作成し、広く配布する。	H28実施予定		H28中に作成し、町内小中学校、企業、全戸に配布、県内高校及び大学に配布するとともに、成人式や就職説明会等で配布する。
町内の商店マップを作成し、広く配布する。	H28実施予定		H28中に作成し、町内全戸に配布、道の駅及び町内観光施設等に配置する。
求人情報サイトや県の就職支援サイト等への町内企業等の積極的な登録を支援する。	H28実施予定		連携組織を通じて事業振興協議会等と調整し、登録支援を実施する。
町内企業等における職業体験(インターンシップ)の積極的な受入れを促進する。	検討中		連携組織を通じて事業振興協議会等と協議し、企業側の受入等について意向調査を行う。
中学校において職場体験学習を実施する。	実施済み	中学2年生58人が町内19事業所で3日間キャリアスタートウィークを実施した。	今後受入先の拡大を図る。(農家など)
町内企業等への就職希望者に対する奨学金の返還支援を行う。	実施済み	県において制度を創設。町HP及びお知らせ板により募集したが申請件数0件であった。	H28は1件申請あり。周知を強化することで活用を促す。
新規学卒就職者や正規雇用を行った企業等に対し奨励金を交付する。	実施済み	新規学卒者に対する奨励金 6件 町民を正規雇用した事業主に対する補助 6事業所(10名分)	H28も継続して実施する。
イ 町内の商工業の質及び収益性の向上を図る。			
製品・商品、店舗、販促ツール等の質の向上に対し支援する。	実施済み	・ブランド大学で学んだことを活かし、質の向上を目指す個人や事業所が販促ツールのリニューアルや店内改装を実施した。(スナック詩、ヒグチ、Asahi自然観など) ・店舗のディスプレイ改装費用に対する補助 2件	・H28も引き続き年3回のブランド大学を継続し、ブランド化についての学びの場を提供する。 ・引き続き店舗のディスプレイ改装費用に対し補助を行う。

施策		実施状況	H27事業実績	今後の方針
	従業員の技術の向上への支援を行う。	実施済み	農業、工業、観光分野で、産業力向上につながる人材育成のための海外研修に対する補助、又は社員等のスキルアップのための中小企業大学校受講に対する補助 1団体(農業団体海外研修)	H28も継続して実施する。
	町内企業等の設備投資への支援を行う。	実施済み	平成26年度設備投資に対する奨励金の交付 3企業	H28も継続して実施する。
	金融機関からの融資に係る利子等への支援を行う。	実施済み	商工業振興資金融資制度の保証料補償 87件(県信用保証協会分)	H28も継続して実施する。
	商品開発への支援を行う。	実施済み	新商品開発に対する相談対応 1件	H28も継続して実施する。
	販路開拓・拡大への支援を行う。	実施済み	県外で開催される商談会、見本市等への参加・出店に対する支援 2企業	H28も継続して実施する。
	6次産業化への支援を行う。	実施済み	新たな事業経営等に対する創業支援補助 2件	H28も継続して実施する。
	商店街が一体的に取り組む各商店の質の向上やお買い物券の発行といった町内商店の活性化を図る取組みへの支援を行う。	実施済み	20%プレミアム商品券8,500セット発行、他にイベントサービス券(200千円)発行	H28は町単独で10%プレミアム商品券1,800セット、イベントサービス券発行予定
	ふるさと納税の返礼品として活用することにより町の特産品のPRと販路拡大を図る。	実施済み	町内事業所の商品を返礼品に追加(拡充)した(朝日町ワイン、ロイフェン)。特にワインが好評で、約4,200件の申し込みがあった。	追加したい事業所があれば返礼品に加えていく。
	ブランド化についての学びの場を提供する。	実施済み	あさひまちブランド大学を開催し、ブランド化による稼ぐ力や接遇力アップの場を提供した。	H28は3回開催する。
ウ 攻めの企業誘致、新規創業、継業促進を図る。				
	町、地域、商店街等が求める企業等や商品等を明確にし、それらの誘致、創業又は継業の募集を全国に向け発信する。	検討中		町が求める仕事や店舗等のニーズをどのように把握し、どのように募集をかけるのが効果的か検討していく。
	空き店舗や廃校等を仕事場として提供する。	H28実施予定		・H27に商店街の空き店舗による創業可能性調査を実施した。それを踏まえ、空き店舗バンクをH28中に開設し、町内の空き店舗情報の発信を行う。 ・創業に向けた仕事場の提供として、旧送橋小を中心に創業に向けた支援を検討中
	空き家バンクのホームページをリニューアルし、空き店舗等についても積極的な情報提供を行う。	H28実施予定		空き店舗バンクをH28中に開設し、町内の空き店舗情報の発信を行う。
	創業相談及び業種毎の創業の手続きに関する指導を行う。	H28実施予定		連携組織を立ち上げ、ワンストップ窓口を設置し、創業に関する相談があったら、商工会や金融機関等につなぐ体制を構築する。
	県で実施する創業塾や創業セミナー等の積極的な情報提供を行う。	実施済み	・町HP、お知らせ板等で情報提供を行った。 ・西村山1市4町でも連携して創業セミナーを開催した。	H28も継続して実施する。
	企業等の誘致や創業に係る設備投資への支援を行う。	実施済み	新たな事業経営等に対する創業支援補助 2件	H28も継続して実施する。
	金融機関からの融資に係る利子等への支援を行う。【再掲】			

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
② 町内に留まらず、広域で町民の就職先を確保する。			
西村山1市4町で協力して企業誘致や町民の雇用先の確保を図る。	実施済み	西村山雇用対策協議会とハローワーク寒河江が共催して新規学卒者を対象とする求人申込説明会を開催した。(1回)	H28も引き続き実施される予定。
西村山1市4町で協力して企業合同説明会を開催する。	実施済み	・西村山雇用対策協議会とハローワーク寒河江が共催して企業の就職相談会を開催した。(2回開催。朝日町参加企業 1社) ・東京において寒河江西村山企業ガイダンスを開催した。(朝日町参加企業 1社)	H28も引き続き実施される予定。
就職相談等において、希望者のニーズに応じて町外の求人の情報等も提供する。	検討中		求人情報の収集方法も含めて検討中
③ 朝日町の森の恵みを活かした産業振興と雇用創出を図り、持続可能な社会を実現する。			
伐採されたりんごの木等の資源を有効活用し、薪(まき)やチップなどの木質バイオマス燃料の供給体制の構築を推進する。	実施済み	朝日町有志会において、薪ステーションの設置及びりんご炭の生産を行った。	今後は、炭の品質等の改善を図りながら販路の拡大につなげる取組となるよう有志会と協議を行う。さらに木質バイオマスの燃焼器(ペレットストーブや薪ストーブ)の支援を行いながら普及推進を図る。
広域で連携して、西山杉を活用した原木の生産から乾燥、流通までの一貫した支援と西山杉を活用した住宅の地域内への普及を促進する。	H28実施予定		西山杉の有効活用を図る為、3町による協議会が立ち上がっており、今後一貫した支援体制を図る。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
町内企業等に就職した15歳から39歳までの町内居住者の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 75人 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:15人)	新規学卒者激励金の交付実績、緊急雇用確保対策補助金の交付実績	10人	13.3%
町内の工業の製造品出荷額	平成31年度 54億6千万円 (平成26年度:54億5,392万円)	工業統計調査(毎年)	※まだ出ていない (経済センサス活動調査の結果が確定するのはH29になる予定)	—
町内の年間商品販売額	平成30年度 35億5千万円 (平成26年度:35億4,253万円)	商業統計調査(2年に1回)	※まだ出ていない (経済センサス活動調査の結果が確定するのはH29になる予定)	—
企業誘致及び新規創業数	平成27年度から平成31年度の5年間で 15件 (平成24年度から平成26年度までの3年間の実績:9件)	実績	2件	13.3%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

1 若者が誇りを持てる「しごと」を創生する。

(2) 朝日町での就農を促進する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 町内の農業の質及び収益性の向上を図る。			
りんごその他の農産物の品質向上への支援を行う。	実施済み	国の果樹経営安定対策事業による改植実施に対する補助 12件	国の事業を積極的に活用しながら、老木化の更新を更に推進する。
産業創造推進機構で作成したレンピや道の駅に併設される農産物加工施設等を活用し、6次産業化による商品開発を支援する。	実施済み	5団体が週4日農産物加工施設を利用して加工製品の開発を行っている。	引き続き支援を行う。
パッケージデザインや販促ツール等の魅力の向上に対する支援を行う。	実施済み	・ブランド大学で学んだことを活かして、向上を目指す農家がパッケージデザインや販促ツールのリニューアルを実施した。(だいちゃん農園、清野りんご園など) ・段ボール、ポップ、お便り等の作成に対する補助 4件	引き続き支援を行う。
りんごその他の農産物の海外輸出の促進その他の販路の開拓・拡大への支援を行う。	実施済み	海外でのプロモーションに係る費用に対して補助を行った。りんごの海外輸出量が過去最高の72tの実績となった	東アジアを中心に更なる輸出量の拡大を図る。
道の駅での農産物の直売を推進する。	実施済み	施設園芸用ハウス整備に対する補助制度を設けているがH27は利用者がいなかった。(H26:1件、H25:3件)	H28は3件の申請がある予定。引き続き「りんごの森」での冬期間における販売品目の充実に向け支援を継続する。
ブランド米(「あさひ清流美人」、「棚田米」など)の販売促進や土づくり等に対する支援を行う。	実施済み	あさひ清流美人販売数22俵(対前年比105%) 棚田米販売数950俵(対前年比90.1%) 堆肥散布面積 46.6ha(対前年比84%)	ブランド米確立及び良質米生産に向け継続して支援を行う。
収益性の高い園芸作物の栽培に対する支援を行う。	実施済み	町ブランド品維持支援事業としてぶどう棚設置及び苗木購入に対して支援を行った	引き続き支援を行う。
朝日町でこれまでやっていない技術や品種などの先進的な取り組みに対して支援を行う。	実施済み	西洋梨や菊の新品種の苗木等に対する補助 5件	農家所得向上の為、引き続き支援を行う。
規模拡大を図るための高性能な農機具の購入に対する支援を行う。	実施済み	認定農業者の農機具の購入に対する補助 15件	認定農業者の経営改善計画の目標達成に向け引き続き支援を行う。
農業生産法人を設立する意向のある農家に対し、研修会を開催する等により実現に向けた支援を行う。	H28実施予定		集落営農組合の法人化も含めた今後のあり方について検討を行う。
家庭や学校給食等での地産地消の推進を図る。	実施済み	朝日町食育・地産地消推進計画を策定。 可能な限り地元産の食材を使うように対応している。	推進計画達成に向け各種事業を実施する。
雪害や鳥獣被害を防止するための取組みに対し支援する。	実施済み	鳥獣被害防止対策協議会及び実施隊の設置 雪害対策に向けた共済掛金に対する補助 雪害防止用の資材の購入費への補助 5件	・クマ、猪の被害が多くなってきており、引き続き有害鳥獣被害防止に向け支援を継続する。 ・雪害対策に向けても引き続き支援を行う。
ふるさと納税の返礼品として活用することにより町の特産品のPRと販路拡大を図る。【再掲】	実施済み	従来のりんごに加え、サクランボを返礼品に追加。前者に約2,400件、後者に約800件の申し込みがあった。	返礼品の品目、数量を今後も拡充していく。
② 新規就農の促進を図る。			
町内の農家において短期農業体験研修及び長期農業研修を実施する。	実施済み	短期研修 1件	就農者確保に向け、研修受入れを積極的に行う。

施策		実施状況	H27事業実績	今後の方針
	空き家等を利活用した農業研修生の宿泊施設を整備する。	H28実施予定		きらやか銀行の元社宅を活用して朝日町農業研修生等宿泊施設の整備を行う。
	町内への就農を条件に農業大学校の授業料について全額補助する。	実施済み	H27は農業大学校への入学者なし	新規就農者確保の為、継続して支援を行う。
	就農に係る機械、施設等の設備投資への支援を行う。	実施済み	経営体育成支援事業(国補助) 2件 就農等条件整備事業(町補助) 3件	就農者の農業経営安定化に向け引き続き支援を行う。
	移住による新規就農者に対し青年就農給付金の上乗せを行う。	実施済み	Iターン就農者2名について実施	新規就農者確保の為、継続して支援を行う。
	空き家バンクのホームページをリニューアルし、住宅情報と併せて空き農地や空き小屋の情報を積極的に発信する。	H28実施予定		目ぼしい耕作放棄地や後継者を希望している農地を中心に掲載した空き農地バンクをH28中に開設予定。
	就農の促進を図るため、農地を取得できる下限面積を緩和する。	検討中		新たな農業委員体制において検討を行う。
	出荷組合等の枠を超えた若手農業者同士のつながりや技術及び経営力の向上を図るため、若手農業者団体の活動への支援を行う。	実施済み	朝日町若手農業者の会での園地視察や研修会、販促活動に対する補助を行った。	若手農業者の会の更なる活動促進の為、引き続き支援を行う。
	中学生や高校生、大学生を対象にした若手農業者や農業生産法人の下での農業体験を実施する。	検討中		・中学生についてはキャリアスタートウィークにおいて農家での受入れを検討する。 ・高校や大学への呼びかけ等、対象者の募集についてどのような方法があるか検討する。
③ 年間を通して仕事を作ることで、就農者の生活の安定性を図る。				
	町内の商工業者、商工会、観光協会、農協等が連携し、冬場などの農繁期以外の時期における雇用の場を確保することによって、就農者の収入の確保と町内企業等における人材の確保を図る。	検討中		H28に企業訪問を実施し、企業側のニーズを把握するとともに、事業振興協議会、農協等による連携組織の中でどのような手法でマッチングを図るか検討する。
	農繁期以外の時期に高齢化の進む地域での見守り、草刈り、雪かき、買い物支援等の地域支援活動を行う体制を構築することにより、就農者の収入の確保と地域貢献に対する意識の醸成を図るとともに、高齢者の生活支援を図る。	検討中		高齢者の日常生活支援体制構築に向けた検討も踏まえ、そのような組織の形成が可能かどうか検討する。
	農業の傍ら、農家民宿や農家レストラン、農業体験観光等を実施することにより、農産物の販売以外での収入の確保を図る。	H28実施予定		・H28中に1件農家民宿開業予定。開業に向けた手続き等に対し支援を行っている。 ・農家民宿(農業体験観光)の創業に対する支援や研修会、先進地視察等を計画
④ 女性農業者の促進を図る。				
	農業生産法人を設立する意向のある女性農業者グループに対し、研修会を開催する等により実現に向けた支援を行う。	H28実施予定		女性農業者グループで企業組合を立ち上げ活動している団体があるので、そちらをモデルとして法人化志向のある女性グループの掘り起しを行う。
	力仕事の分野や妊娠期間中等におけるシルバー人材センターやアグリヘルパーの活用を促進する。	検討中		シルバー人材会員における農作業研修と併せ、需要状況の調査を行い制度構築について検討する。
	女性の活躍が期待される農産物の加工や販売といった6次産業化への支援を行う。	実施済み	創業支援として女性団体の機械整備に対し支援を行った。 1件	6次産業化の普及推進に向け支援を継続する。
	大学生等の女性を対象とした町内の若手農業者の下での農業体験を実施する。	検討中		対象者の募集等どのような方法があるか検討する。

施策		実施状況	H27事業実績	今後の方針
	農作業に係る現場環境の整備に対して支援する。	検討中		H28に町長と女性農業者との意見交換会を実施し、女性農業者の意見を集約して、どのような支援が良いのか検討する。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
りんごの販売額(町の主要な生産組合を通じて出荷される販売額)	平成31年度 7億5千万円 (平成26年度:7億900万円)	朝日町の主要なりんご生産組合の販売額の合計値	7億1千5百万円	95.3%
15歳から39歳までの新規就農者数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 30人 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:6人)	青年就農給付金の対象者	4人	13.3%
農業所得者における1人あたりの平均所得金額	平成31年度 155万5千円 (平成26年の1人あたりの平均所得金額:155万5,409円)	課税台帳	155万4,556円	99.9%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(1) 朝日町を愛する気持ちの育成とその維持を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① エコミュージアムを活用した若者及び大人に対するふるさと教育の充実を図る。			
案内人の会と連携しながら、町民がNPO法人エコミュージアム協会において研究・集積した地域の宝について知り、それに直に触れる機会を作る。	実施済み	・各学校の総合学習の時間に、地域の宝を探訪するなどの取り組みを実施している。 ・ふるさとミニ紀行の開催 計5回(高田のブナ林探索、鈴木酒造の酒蔵見学など)、参加者数62人 ・町の歴史的建造物の現地見学会及びシンポジウムを開催	左記の取り組みを引き続き実施するとともに、H28は道の駅のギャラリーにおいて地域の宝のパネル展示を実施する。
② まちづくりに若者が参画する場や機会を作る。			
まちづくりについて若者の意見やアイデア等を取り入れる場や機会を作る。	実施済み	中学3年生による道の駅プロデュースを実施した。	・H28は中学校2年生において朝日町プロデュースの取り組みを行うとともに、町長との意見交換会を開催する。 ・H29は若者の意見を取り入れながら若者の集まる場所づくりに取り組む予定。
③ 町に戻ってくる機会を捉えた情報発信とSNSの活用によるつながりの維持を図る。			
成人式や同級会といった転出した人が町に戻ってくる機会を捉えて、町の就職情報等の提供を行うとともに、町のSNSへの登録を推奨することにより、継続的な町の情報提供と町にいる仲間とのつながりの維持を図る。	実施済み	・H28成人式の会場で近年の町の取り組みをパネルで紹介した。 ・高校入学前の中学校3年生を対象に、自分の町への愛着をさらに高め、地方創生に対する理解を深めるための講演を実施した。	・パネル展示についてはしっかり見ている人があまりいなかったため、どのような手法が効果的か改めて検討する。 ・町内の企業ガイドを成人式で配付する。 ・中学校3年生に対する講演を引き続き実施する。
中学生の時に収穫したぶどうで造ったワインを成人式でプレゼントする。	実施済み	成人式にて実施した。	継続して実施する。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
町民アンケートにおいて朝日町に「住み続けたい」又は「どちらかという住み続けたい」と回答した人の割合	39歳以下 平成32年度 58% (平成27年度:53%) 40歳以上 平成32年度 77% (平成27年度:72%)	平成32年度に実施する町民アンケートの結果	—	—
中学生アンケートにおいて朝日町に「住み続けたい」又は「どちらかという住み続けたい」と回答した生徒の割合	平成32年度 76% (平成27年度:71%)	平成32年度に実施する中学生アンケートの結果	—	—

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(2) 将来のまちづくりを担う人材の育成と確保を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 地域貢献やまちづくりに積極的に取り組む人材を育成する。			
中学生及び高校生の地域でのボランティア活動を推進する。	実施済み	中学生ボランティアサークル「きらり」、高校生ボランティアサークル「JOKER」の活動支援	継続して実施する。
まちづくりについて若者の意見やアイデア等を取り入れる場や機会を作る。【再掲】			
地域の住民や有志グループ等による、地域の活性化や環境整備といった住民主導によるまちづくりの取り組みを支援する。	実施済み	・地域提案型交付金による各地区での環境整備活動やにぎわい創出活動に対する補助 延42地区 ・志藤六郎村おこし基金による地域づくり活動への補助(H27 0件) ・地区の共助による草刈活動に対する補助(実証実験) 5地区 ・Newアクション応援事業により町内団体の取組みに対し補助(神風船まつり、霹靂祭、星の会による昔話会など)	・地域提案型交付金や志藤六郎村おこし基金については使いやすく、ニーズにあったものになるよう見直していく。 ・草対策補助については、本事業に発展させていく。 ・Newアクション応援事業については補助対象範囲の拡大を検討する。
② 地域貢献やまちづくりに積極的に取り組む人材を確保する。			
大学と連携し、まちづくりに有用な知識、技術を身につけた人材の育成や確保を図る。	検討中		どのような連携や人材の受入れ体制が取れるか検討中
町や地域の抱える課題を明確にしたうえで、それらの手助けに意欲的に取り組みたいという若者を募集し、地域おこし協力隊やインターン等として受け入れる。	実施済み	・ブランド化推進に向けたデザイン力の向上を図るため、デザイナーを地域おこし協力隊として雇用した。 ・大沼地区において、浮島管理等のため緑の協力隊を雇用した。 ・地域おこしに興味がある若者を募集し、地域おこしインターン研修を開催した。(H28.2.15～2.21、参加人数7名)	H28は移住・交流を推進するための人材を地域おこし協力隊として雇用する。また、白倉地区の住民の生活支援を行う人材を地域おこし協力隊として募集中。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
町民アンケートにおいて、朝日町に住みたいと思う理由として、「町をもっとよくするために少しでも力になりたいと考えているから」と回答した39歳以下の人の割合	平成32年度 9% (平成27年度:4%)	平成32年度に実施する町民アンケートの結果	—	—
中学生アンケートにおいて、朝日町に住みたいと思う理由として、「町をもっとよくするために少しでも力になりたいと考えているから」と回答した生徒の割合	平成32年度 17% (平成27年度:12%)	平成32年度に実施する中学生アンケートの結果	—	—
地域おこし協力隊やインターン等として町に受け入れた若者の人数	平成27年度から平成31年度の5年間で3人	実績	2人	66.6%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(3) 朝日町の特徴を活かした満足度の高い教育を実施する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 自然、福祉等の体験活動を通して、豊かな心を育成する。			
保育園において朝日町の豊かな自然等と触れ合う活動の強化を図る。	実施済み	保育園内外の植物、虫や鳥、動物の観察、花の栽培、どろんこ畑の野菜づくり、里山探検、お花見、散歩、砂場、園庭雪遊び、自然観そりすべり等を実施	引き続き実施する。
中学生及び高校生の地域でのボランティア活動を推進する。【再掲】			
朝日ナチュラリストクラブやNPOブナの森等における自然体験活動を推進する。	実施済み	・ナチュラリストクラブでのキャンプ、ツリーイング、川遊びといった自然体験活動の実施、ブナの森でのカヌー体験の実施 ・北部公民館でのドキドキ探検隊や西部公民館でのいもがわ少年教室における昔ながらの遊びや自然体験活動の実施。 ・宮宿小、西五百川小において朝日岳登山の実施	継続して実施する。
② 少人数であることを活かしたきめの細かい学習指導を行う。			
小学校及び中学校に学習生活指導員を配置する。	実施済み	児童生徒の状況に応じて学習生活指導員を配置している。	継続して実施する。
複式学級支援補助員や特別支援学級支援補助員を配置する。	実施済み	H27より西五百川小学校で複式学級がスタートすることから新たに1名を学習生活指導員として配置した。	継続して実施する。
③ 保育園、小学校、中学校が連携した一貫した就学の支援を行う。			
保育園、小学校、中学校の先生による情報交換会を開催する。	実施済み	保小連携推進事業の中で情報交換を実施した	H28から朝日町教育研究所内に保小中連携推進部会を新たに設置し、連携強化を推進。
④ 国際化の時代に対応した広い視野を持った人材を育成する。			
保育園における教育プログラムの強化を図る。	実施済み	ALTを派遣し、英語の教室を実施	英語教室は、引き続き実施 教育研究所・保小中連携推進部会で、児童がスムーズに保育園から小学校へ移行できるよう(小1プロブレム対策)、教育プログラムを検討し実践する
中学校において海外派遣研修を実施する。	H28実施予定		H28新規事業として立ち上げ実施
外国人講師による生の英語指導や学習会など英語教育の充実を図る。	実施済み	・専門の英語指導講師を配置し、保育園、小学校、中学校で英語学習を実施。 ・英検を通じた英語力の向上を目的に英語学習会を実施。	継続して実施する。
日本の次世代リーダー養成塾への高校生の参加を支援するとともに、参加者を中心とした高校生の人材育成のための交流会を開催する。	実施済み	日本の次世代リーダー養成塾へ1名の高校生の参加を支援し、参加者と高校生ボランティアサークルメンバーとの交流会を実施した。	継続して実施する。
⑤ 職場体験学習や農業体験により、働く意義を考え、自立する心を養成する。			

施策		実施状況	H27事業実績	今後の方針
	小学校及び中学校において農業体験を実施する。	実施済み	小学校においてりんご栽培学習や稲作学習、畑での栽培学習を実施	継続して実施する。
	中学校において職場体験学習を実施する。【再掲】			
⑥ 読書や芸術に触れることを通じて、豊かな感性を育成する。				
	小学校及び中学校に読書活動推進員を配置する。	実施済み	子どもたちの読書活動を推進するために、新たに小学校に読書活動推進員を配置	H28は読書活動推進員を2名に増員し、中学校における読書活動についても充実。
	町内在住のオペラ歌手によるコンサートの開催や町内に拠点を有する芸術家団体による図工の学習指導等を実施する。	実施済み	・町内在住のオペラ歌手今井倭子さんによる中学生のためのオペラコンサート実施(11/27) ・「あとえマサトと図工の時間」の学校の図工の授業や学年行事への拡充	継続して実施する。
⑦ 地域の大人との交流による学びの機会を創出する。				
	放課後における地域の先生による学習やスポーツ、文化活動等の取組みを推進する。	実施済み	宮宿小学校で実施していた放課後子ども教室を拡充し、西五百川小学校と大谷小学校で新たにスタートした。	継続して実施する。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
中学生アンケートにおいて「今の教育に満足している」と回答した人の割合	平成32年度 24% (平成27年度:19%)	平成32年度に実施する中学生アンケートの結果	—	—

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(4) 観光振興により交流人口の拡大を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 観光資源の充実を図る。			
NPO法人エコミュージアム協会において研究・集積した地域の宝を、案内人の会において案内することを通じて交流人口の拡大を図る。	実施済み	・案内人の会による案内数 延べ1,025人 ・ふるさとミニ紀行の開催 計5回(高田のブナ林探索、鈴木酒造の酒蔵見学など)、参加者数62人	・大学への周知を強化することでさらなる参加者増を図る。 ・地域の宝を活用したツアー商品の開発とツアー会社への売り込みを進めていく。
Asahi自然観、朝日鉱泉ナチュラリストの家、NPOブナの森等における朝日町の自然を活かした体験活動により交流人口の拡大を図る。	実施済み	自然観でのスキーやわらび採りや星空観察、ナチュラリストの家での朝日岳登山や溪流釣り、NPOブナの森でのカヌー探訪など自然を活かした体験活動を実施している。	継続して実施する。
わざわざ朝日町に来ないと買えない商品や食べられない食べ物等の開発を支援する。	実施済み	・地元食品企業や商工会、道の駅と連携しての商品開発を実施した。(引力カレーなど) ・あつぷるニュー豚や雪りんご、りんごの木を活用した炭づくりといった地域資源を活用した商品開発等に対する支援	引き続き商品開発を進める。
観光資源や観光地等の魅力の向上に対し支援する。	実施済み	・新たな観光地として道の駅の開設 ・観光施設等の維持管理、案内看板等の整備等の実施 ・町の主要な観光施設に無料公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備した。	自然観やカヌーランドの施設の充実、秋葉山の整備等を検討している。
② 観光情報発信の強化を図る。			
首都圏、仙台圏等に対する観光プロモーションを強化する。	実施済み	現地でのプロモーション活動を実施した。(首都圏:5回、仙台圏:5回、県内(庄内含み)5回)	継続して実施する。
インターネット等による情報発信を強化する。	実施済み	町、観光協会及び道の駅あさひまちHPでの情報発信を行った。	カヌー全国大会等町内のイベント等のPR強化を図る。
観光パンフレットを改訂し、広く配布する。	H28実施予定		全面的な改訂を行い、インバウンド等更なる交流に結び付けるパンフの作成
朝日町の地域の宝マップを作成し、広く配布する。	H28実施予定		H28に作成し、創遊館や道の駅等に設置する予定。
観光ボランティアの配置や道の駅への観光案内所の設置により、観光地を案内する体制を強化する。	実施済み	道の駅に観光に関する情報コーナーと観光協会職員を配置し、情報発信、案内業務等の強化を図っている。	継続して実施する。
③ 朝日町の魅力を活かしたグリーンツーリズムによる着地型観光を推進する。			
道の駅における町の特産物の直売やイベント等の開催を通じて交流人口の拡大を図る。	実施済み	道の駅を10月に開設。半年間の利用者数263,500人。	町内産農産物等の充実や定期的なイベントの開催等を通じ、さらなる交流人口の拡大を図る。
民宿、農家レストラン、農園ランチ、農業体験といったグリーンツーリズムに取り組む人への支援を行う。	H28実施予定		・H28中に1件農家民宿開業予定。開業に向けた手続き等に対し支援を行っている。 ・農家民宿(農業体験観光)の創業に対する支援や研修会、先進地視察等を計画中

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
④ イベントの開催による交流人口の拡大を図る。			
集客力と参加者の満足度の高い、朝日町の魅力を活かした観光イベントを開催する。	実施済み	・町の資源、魅力等を活用したイベントの実施により年々集客力が上がっている。 ・ワインまつり1,400人、産業まつり21,000人、溪流まつり2,000人など ・新たなイベントとしてミートマラソンを開催した。(来町者数450人)	・ミートマラソンのさらなる参加者増加を図る。 ・H28はりんごもぎ取り体験とりんご温泉と道の駅とを組み合わせた着地型観光ツアーを実施予定

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
年間観光客数	平成31年度 400千人 (平成26年度:317千人)	観光入込客統計	573千人	143%
道の駅への来場者数及び売り上げ	平成31年度 来場者数 7万5千人、売上 1億1千5百万円	実績	来場者 26万3,500人 売上 1億2千842万円 (H27.10～H28.3までの実績)	351% 112%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(4) 観光振興により交流人口の拡大を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
⑤ 広域で連携することにより交流人口を拡大する。			
ア 県と連携した施策			
「県産ワイン」をテーマにした広域周遊ツアーを実施する。	検討中		県の方で現在「県産ワイン」をテーマにした広域周遊ツアーの実施を検討中
冬季の観光振興を図るため、雪を活用したイベントを開催する。	実施済み	寒河江市を会場に冬期間の誘客を図るための雪フェスティバルの実施	引き続き実施される予定
イ 県外市町村と連携した施策			
宮城県七ヶ浜町との交流事業を推進する。(特産品の出品、スポーツ少年団の交流など)	実施済み	・道の駅での七ヶ浜デーの開催、産業まつりでの出店、七ヶ浜町での物産市でのりんごの販売など ・野球スポーツ少年団が七ヶ浜町の野球大会に出場する際の交通費の補助	引き続き実施する。
ウ 西村山1市4町と連携した施策			
共通ポイント業者と連携して、西村山1市4町における観光客の属性・消費などの観光データの分析・収集を行う。	実施済み	TSUTAYAのポイントカード端末を西村山の主要な観光地に設置することにより、利用客層等のデータの収集・分析を行った。	やまがたどまんなか探訪プロジェクト会議(DMO)において引き続き実施を検討中
冬季の観光振興を図るため、雪を活用したイベントを開催する。【再掲】			
西村山1市4町における観光振興に資する創業を促すためのセミナーの開催や交通量調査等を実施する。	実施済み	・西村山地域にて創業を検討している方を対象にした創業セミナーを行った。 ・西村山の観光地への誘客に係るマーケティング調査といった各種調査を実施した。	やまがたどまんなか探訪プロジェクト会議(DMO)において引き続き実施を検討中
西村山1市4町における広域観光を支える人材の育成の観点から外国人観光客対応を含めた研修等を実施する。	実施済み	西村山地域の観光ボランティアガイドや観光関係者などを対象に、地域の観光資源の再認識・おもてなしの基礎・外国人観光客への対応など計三回にわたって人材研修を行った。	やまがたどまんなか探訪プロジェクト会議(DMO)において引き続き実施を検討中
主に外国人観光客向けの無料公衆無線LAN(Wi-Fi)整備及びDMOの体制整備を実施する。	実施済み	西村山の主要な観光施設に無料公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備するとともに、西村山DMOであるやまがたどまんなか探訪プロジェクト会議のポータルサイトを構築した。	実施終了
「雪」観光への関心が高い台湾向けに旅行商品の造成を働きかけ、インバウンドチャーター便への支援や受入体制の整備を実施するとともに、観光誘客・観光情報発信の強化や有機EL照明パネルなどを用いた県内各地の雪まつりに対する支援を実施する。	実施済み	県において実施した。	県において引き続き実施する。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値 ※平成31年度における西村山1市4町の累計	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
観光客数	593万人	寒河江市において設定	690万人	116.4%
外国人観光客数	1千人	寒河江市において設定	—	—
観光協会等のHPアクセス数	88万件	寒河江市において設定	142万件	161.4%
創業相談件数	40件	寒河江市において設定	177件	442.5%
創業件数	15件	寒河江市において設定	—	—
研修受講者数	300人	寒河江市において設定	54人	18.0%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 町を愛する「ひと」を創生し、町への「ひと」の流れを作る。

(5) 若者の移住を促進する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 移住希望者に対する情報発信を強化する。			
首都圏等で開催される移住セミナーやイベント等に参加し、移住希望者に向けた積極的なPRを行う。	実施済み	ふるさと回帰フェアへの参加 県の移住セミナーへの参加	ふるさと回帰フェア以外の移住フェアへも参加を拡大する。
移住促進パンフレットを作成し、イベント等における配布や移住に関する情報センター等への設置を行う。	実施済み	移住者向けパンフレット「朝日町移住のひみつ大図鑑」を作成して、東京の各所や道の駅に設置するとともに、移住フェア等で配付した。	適宜内容のリニューアルと増刷を行う。
全国移住ナビ等を活用し、インターネットによる情報発信を強化する。	実施済み	町HPの他、全国移住ナビ、JOIN(移住・交流推進機構)のHPIにおいて情報発信を実施	・今年度実施予定の移住体験ツアーや、朝日町暮らし体験施設の情報発信を中心に情報発信を強化する。 ・朝日町の移住・定住関連の情報についてまとめたHPを作成。
② 移住体験をする機会を設ける。			
夏場や冬場などの季節ごとに、先輩移住者や町民の家等に滞在し、朝日町の生活を体験できる仕組みを整備する。	H28実施予定		・H28の夏と冬に移住・交流体験ツアーを実施する。(民泊を活用) ・H28中に空き家を活用した朝日町の暮らし体験や住民との交流体験できるゲストハウスを開設予定。
③ 地域において移住者を受け入れるための環境整備を図る。			
移住者を積極的に受け入れることにより地域の活性化を図りたいと考えている地域において、移住者を受け入れるための受入方針の明確化を図る。	検討中		・H28の町長と語ろうにおいて呼びかけを行う。 ・移住者の受入れについて地区の意向調査を行う。
地域の空き家を積極的に空き家バンクに登録することによって、地域の活性化に意欲的に取り組む地区に対して奨励金を交付する。	実施済み	・2地区 計4件分について交付 ・区長会総会及びお知らせ板により周知を行った。	H28の町長と語ろうにおいて活用呼びかけを行う。
④ 持ち家の取得に対する支援を行う。			
持ち家の建設又は購入に対し奨励金を交付する。	実施済み	・持家住宅建築奨励補助 96件 ・住宅リフォーム補助 56件 ・国産木材利用補助 6件 ・家を建設や購入し、町内に定住した場合の助成金 4件	持家の建設関係の補助については引き続き実施するとともに、多世代同居の場合に補助金の上乗せを行う。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
移住セミナー等や移住体験がきっかけで移住した人の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3組 (平成24年度から平成26年度までの3年間の実績: 1組)	実績	0	0.0%

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
移住者を受け入れるための環境整備に取り組む地区数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3地区	実績	1	33.3%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(1) 町内の空き家を有効活用し、住宅として提供する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 空き家バンクを介して空き家の提供を行う。			
空き家の所有者への登録の呼びかけについて強化する。	H28実施予定		・空き家の登録を呼びかける全戸配付チラシの内容をリニューアルする。 ・固定資産税の納税通知書に空き家バンクの登録を呼びかけるチラシを同封する。
空き家の登録促進を図るため、清掃や家財道具の処分に対して支援する。	実施済み	・空き家バンクに登録する場合の空き家の清掃に対して補助金を交付 7件 ・空き家バンクに登録した場合に空き家の片付けを行う実証実験を実施 1件	・空き家の登録を呼びかける全戸配付チラシにおいて活用を周知する。 ・空き家バンクに登録した場合に空き家の清掃・管理を行う体制について引き続き検討を行う。
地域の空き家を積極的に空き家バンクに登録することによって、地域の活性化に意欲的に取り組む地区に対して奨励金を交付する。【再掲】			
空き家の改修費用への支援を行う。	実施済み	H27から補助率を1/2から2/3に引き上げて補助を行った。 5件	引き続き補助を行う。
リノベーションを推奨することにより、空き家の購入の促進を図る。	検討中		今後どのように進めていくのが効果的か検討中
② 空き家を有効活用し、地域への若者の定住に向けた住宅を整備する。			
地域の空き家をリフォーム又はリノベーションした定住促進住宅を整備する。	検討中		どのように進めていくのが効果的か検討中

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
空き家バンクを介した空き家の成約数(入居者が20歳から39歳のものに限る。)	平成27年度から平成31年度までの5年間で 10件 (平成23年度から平成27年度までの5年間:10件)	実績	6件	60%
空き家をリフォーム又はリノベーションした定住促進住宅の整備数	平成27年度から平成31年度までで 3棟	実績	0	0

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(2) 住民のニーズに対応した住環境を整備する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 民間アパートの町内への誘導を図る。			
民間アパートの建設に対し支援を行う。	H28実施予定		H28に民間アパート建設補助金を創設し、民間事業者の誘導を行う。
② 町内の遊休土地についての情報提供を行う。			
空き家バンクのホームページをリニューアルし、町内にある遊休土地についても情報提供を行う。	H28実施予定		H28中に空き宅地バンクを開設し、町内の空き宅地や住宅団地の情報発信を行う。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
民間アパートの誘致数	平成27年度から平成31年度までで 1棟 (平成26年度現在:0棟)	実績	0	0
空き家バンクのホームページを介した宅地の成約数	平成27年度から平成31年度までで 3件	実績	0	0

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(3) 交通の負担を軽減する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 山辺・山形方面への通勤・通学の負担を軽減する。			
朝日町・山形市間直行バスを運行する。	実施済み	往路1便、復路2便を運行 利用実績:8,253人	継続して実施する。
部活帰りの高校生が利用しやすい時間帯の運行について検討を進める。	H28実施予定		H28に復路3便の実証運行を実施する。
② 寒河江・左沢方面への通勤・通学の負担を軽減する。			
寒河江宮宿間の路線バスを利用する高校生に対して、定期券の購入費を支援する。	実施済み	宮宿～寒河江バスターミナル間の定期券購入費補助金の補助率を1/2から2/3に引き上げた。 利用実績:91件	継続して実施する。
路線バスが運行していない時間帯におけるカバーについて検討を進める。	検討中		H29に寒河江19:15、20:15発宮宿行きのデマンドタクシーの実証運行を検討(山形駅から左沢駅に電車で到着した人も併せてカバーする。)
③ 保育園、小学校、中学校の通園・通学の負担を軽減する。			
通園バス及びスクールバスを運行する。	実施済み	・無料(保護者負担無し)で通園バスを運行。 ・子どもの状況に合わせスクールバスを効果的に運行。冬期の運行を拡充した。	継続して実施する。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
高校生の通学に関するアンケートにおいて、山辺・山形方面の高校へ通学する高校生のうち、山形直行バスを「往路・復路とも利用している」と回答した人の割合	平成32年度 23% (平成27年度:18%)	平成32年度に実施する高校生の通学に関するアンケートの結果	—	—
高校生の通学に関するアンケートにおいて、左沢・寒河江・その他の方面の高校へ通学する高校生のうち、主に利用している交通手段として「保護者等が送迎」と回答した人の割合	平成32年度 34% (平成27年度:51%)	平成32年度に実施する高校生の通学に関するアンケートの結果	—	—

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 若者が住み続けることのできる「まち」を創生する。

(4) 若者の集まる場を設ける。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 若者が集まる魅力ある場を設ける。			
創遊館のスペースや空き店舗等を活用し、町内の若者が集まるような魅力ある場を設ける。	検討中		町内の若者の意見を聴く場を設け、どのような場にするか検討を行う。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
若者の集まる場の整備数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 1箇所	実績	0	0

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

基本目標2 結婚・出産・子育てのしやすい環境を整える。

全体の数値目標 (KPI)	指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
	出生者数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 204人 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:39人)	人口動態調査	34人	16.6%
	合計特殊出生率	平成31年度 1.75 (平成23年度から平成25年度までの1年あたりの平均値:1.56)	人口動態調査	※まだ出ていない (H27の人口動態調査の確定数が出るのはH29.3以降になる予定)	—
	婚姻数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 150組 (平成25年度:29組)	人口動態調査	※まだ出ていない (H27の人口動態調査の確定数が出るのはH29.3以降になる予定) 【参考】H27に朝日町役場に届出があった数値は32組	—

1 結婚・出産・子育てと「しごと」との両立を図る。

(1) 仕事と子育てとの両立を支援する施設の充実を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 保育園の充実を図る。			
0歳児保育の充実を図る。	H28実施予定		保育環境をより充実し、定員を増やすため、H28に未満児室の増改築を実施。
第2子(3歳以上児)の保育料を定額にする。	実施済み	第2子(3歳以上児)は5,000円定額	引き続き実施する。
第3子以降(3歳以上児)の保育料を無料にする。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。
早朝、延長保育や土曜日保育を実施する。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。
一時保育や短期保育を実施する。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。
発達支援保育を実施する。	実施済み	発達支援が必要なお子さんも他のお子さんと一緒に生活し、一緒に遊ぶ中で伸びあう力をつけていただくよう統合保育を実施	引き続き実施する。
② 病児・病後児保育の体制整備を図る。			
病児・病後児保育の体制の整備について検討する。	検討中		研修会等で他市町の状況を調査

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
③ 放課後児童クラブの充実を図る。			
老朽化に伴う施設の移転新築を行う。	検討中		平成30年開所を目標に計画中
多子入所時の利用料の減免を行う。	実施済み	通年で兄弟が同時入所の場合、2,000円/月の減免を実施	引き続き実施する。
要保護・準要保護児童の利用費の支援を行う。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。
大谷小、西五百川小学区利用者の利用に係るタクシー代を無料にする。	実施済み	実施済み	引き続き実施する。
④ 放課後における安全安心な子どもの居場所を作る。			
放課後における地域の先生による学習やスポーツ、文化活動等の取組みを推進する。【再掲】			

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
出生者数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 204人 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:39人)	人口動態調査	34人	16.6%
合計特殊出生率	平成31年度 1.75 (平成24年度から平成26年度までの1年あたりの平均値:1.56)	人口動態調査	※まだ出ていない (H27の人口動態調査の確定数が出るのは9月以降になる予定)	—

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

1 結婚・出産・子育てと「しごと」との両立を図る。

(2) 子育てしやすい職場環境の整備を促進する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 企業等における子育てしやすい職場環境を整備するための取組みを促す。			
町内企業の企業子宝率、産休・育休の取得率等を調査し、子育て優良企業に対して優遇措置等のインセンティブを与える取組みを行う。	検討中		H28は町内企業の訪問を行い、女性の雇用体制の状況やどのような支援を求めるかについて聴き取り調査を行う。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
山形いきいき子育て応援企業のうち実践(ゴールド)企業以上に認定された企業の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3社 (平成27年度現在: 1社)	実績	1	33.3%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

1 結婚・出産・子育てと「しごと」との両立を図る。

(3) 自分の仕事に自信と誇りを持てるようにする。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 町内の商工業の質及び収益性の向上を図る。【再掲】			
② 町内の農業の質及び収益性の向上を図る。【再掲】			
③ 年間を通して仕事を作ることにより、就農者の生活の安定性を図る。【再掲】			

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出するとともに、出産・子育てに携わる「ひと」の不安・負担を軽減する。

(1) 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 出会いの場づくりに対する支援を行う。			
町内の結婚希望者のニーズに応じたより効果的な婚活イベントの企画を行う。	実施済み	婚活イベントを2回開催 ・ワイン城での試飲と自然観でのバーベキュー(カップル成立数7組) ・仙台へのバスツアー(カップル成立数5組)	引き続き年2回の婚活イベントを継続する。
町内の事業所、団体等における婚活パーティの開催を促進する。	H28実施予定		町内団体等が婚活パーティを開催する場合の補助金を活用して、消防団や商工会青年部、若手農業者の会等に働きかけ、小規模の婚活パーティの開催を促す。
県内の婚活イベント情報の情報提供を強化する。	実施済み	お知らせ板において、やまがた結婚サポートセンターのHPで県内のイベント情報が見られる旨周知するとともに、町HPにやまがた結婚サポートセンターのHPへのリンクを貼った。	引き続きお知らせ板等により周知を行う。
やまがた出会いサポートセンターの活用を促すことで、1対1のマッチングを図る。	実施済み	お知らせ板において、やまがた結婚サポートセンターの周知を図るとともに、町HPにやまがた結婚サポートセンターのHPへのリンクを貼った。	引き続きお知らせ板等により周知を行う。
婚活イベントの参加者に事前に婚活を成功させるためのポイントや注意点についてのレクチャーを行う。	実施済み	婚活イベント当日の朝に、結婚アドバイザーよりレクチャーを実施した。	婚活イベントの1週間前にイベント参加者に対してセミナーを行うことでより効果を高める。
② 仲人活動への支援を行う。			
仲人による情報交換会を開催する。	実施済み	仲人による情報交換会の開催(5回) 白鷹町と寒河江市の仲人組織とそれぞれ情報交換会を開催	仲人の方々がより活発な情報交換がしやすいような環境づくりを工夫していく。
仲人の活動に係る交通費に対して支援する。	実施済み	仲人活動に要した交通費について補助金を交付(8名)	引き続き補助を行い支援していく。
成婚に至った場合に仲人に対し奨励金を交付する。	実施済み	1組成婚があり、奨励金を交付した。	引き続き奨励金を交付することで成婚数が増えるように取り組む。
③ 人としての魅力アップを図る。			
人としての魅力アップを図るための啓発講座を実施する。	H28実施予定		婚活イベントの1週間前にセミナーを開催することで自分への自信や結婚に対する意識づけを図る。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の考え方	平成27年度の実績値	達成度
婚活イベント等を通じた朝日町民の成婚数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3組 (平成23年度から平成26年度までの実績 1組)	実績	0	0
仲人活動を通じた成婚数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 5組 (平成26年度:0組)	実績	1組	20%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出するとともに、出産・子育てに携わる「ひと」の不安・負担を軽減する。

(2) 出産・子育てにおける不安・負担を軽減する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 妊娠における不安を軽減する。			
妊婦健診(基本部分)を無料にする。	実施済み	妊娠届があった妊婦33名に対し、妊婦健診(基本部分)が無料になる妊婦健康診査受診券を交付した。	H28からは、超音波検査4回分を追加助成し、負担軽減を図っている。
ハイリスク妊婦への電話相談、訪問支援を実施する。	実施済み	妊娠・出産・包括支援事業を当町でも取り入れ、助産師を活用した切れ目ない支援を行った。	妊産婦が安心して過ごすことが出来るよう、継続的な事業を展開する。
特定不妊治療費に対して支援する。	実施済み	申請者へ特定不妊治療費に対する補助金を交付	不妊治療の経済的負担を軽減する為、継続した事業を展開する。
マタニティ相談やマタニティマサポート講座を実施する。	実施済み	・マタニティ相談 33名 ・マタニティマサポート講座 延14名参加	妊娠・出産の不安軽減や、子どもを迎える家族の支援を充実させる為、継続して事業を展開する。
② 子育てに対する不安を軽減する。			
子育てに関する相談(こども相談、もぐもぐ相談(離乳食相談)、こころの健康相談)を実施する。	実施済み	・こども相談 年12回、延199件 ・もぐもぐ相談 年6回、延27件 ・こころの健康相談 年3回、延7件 対応	子どもの発達や生活習慣に関する相談事業を実施。今後も継続した事業を展開する。
子育てに関する講座(ベビーマッサージ講座、あさひ家庭教育学級、家庭教育講座)を実施する。	実施済み	・ベビーマッサージ講座 年2回、延30人参加 ・あさひ家庭教育学級 年4回、延448人参加 ・やまがた子育て講座 年4回、延483人参加	・ベビーマッサージ講座については親子の触れ合いの中で、子育ての楽しさや保護者同士の繋がりを強め、育児不安軽減を図った。今後も継続する。 ・あさひ家庭教育学級、家庭教育講座については引き続き実施する。
③ 子育てにおける経済的負担を軽減する。			
中学生以下の医療費を無料にする。	実施済み	中学生以下の医療費無料化を実施	引き続き実施する。
保育園において第2子(3歳以上児)の保育料を定額にする。【再掲】			
保育園において第3子以降(3歳以上児)の保育料を無料にする。【再掲】			
特別支援学校に就学する児童に対する就学支援及び通学支援を実施する。	実施済み	通学支援については、通学者2名に対しタクシーでの送迎事業を実施した。就学支援については、2名に対し年間15万円補助を行っている。	今後も特別支援学校等に就学するご家族にタクシーでの通学支援か就学支援の補助どちらか選択していただき支援を行っていく。
任意予防接種への助成を行う。	実施済み	・季節性インフルエンザ予防接種1回2,000円の助成。390件申請あり。 ・おたふくかぜワクチン3,000円助成。24件申請あり。	感染症予防の為、今後も継続した助成を行う。
経済的理由により就学が困難な学生に対して奨学金を貸与する。	実施済み	H27新規貸与者3名	継続して実施する。
寒河江宮宿間の路線バスを利用する高校生に対して、定期券の購入費を支援する。【再掲】			

施策		実施状況	H27事業実績	今後の方針
	不要になった子育て用具のシェアを推進する。	検討中		シェアの啓発。斡旋方法の検討
④ 出産・子育て支援制度に関する周知を図る。				
	子育てガイドブックを作成し、広く配布する。	実施済み	子育てガイドブック概要版を作成し、保育園、小学校を通じ配布	子育てガイドブック概要版を全戸配布
	朝日町の子育て支援制度について町外にも広くPRする。	実施済み	町ホームページに、支援制度を掲載	町外へのPRの強化

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
町民アンケートにおいて、子どもを2人以上ほしいと回答した人の割合	平成32年度 92% (平成27年度:87%)	平成32年度に実施する町民アンケートの結果	—	—

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出するとともに、出産・子育てに携わる「ひと」の不安・負担を軽減する。

(3) 子育てについての意識啓発を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 若者が早い段階から子育ての喜びや大切さについて触れる機会を設ける。			
中学生・高校生を対象に乳幼児とのふれあい育児体験教室を開催する。	実施済み	ボランティア & ふれあい育児体験を実施	引き続き実施する。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
中学生アンケートにおいて、子どもを2人以上ほしいと回答した生徒の割合	平成31年度 85% (平成27年度:80%)	平成32年度に実施する中学生アンケートの結果	—	—

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 子育てをしやすい「まち」を創生する。

(1) 地域への子どもの定着を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 空き家を有効活用し、地域への若者の定住に向けた住宅を整備する。【再掲】			
地域の空き家をリフォーム又はリノベーションした定住促進住宅を整備する。 【再掲】			

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 子育てをしやすい「まち」を創生する。

(2) 子どもの遊び場の充実を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 魅力ある屋内の遊び場を提供する。			
子育て支援センターにおいて保護者と子どもが自由に遊べる屋内の遊び場を提供する。	実施済み	子育て支援センターにおいて保護者と子どもが自由に遊べる屋内の遊び場の提供を実施	引き続き実施する。
② 魅力ある野外の遊び場を提供する。			
魅力的な遊具がある屋外の遊び場を整備する。	検討中		遊び場の視察。町にどのような遊具・屋外遊び場が必要なのかを検討
地域における公園の機能向上を図るための取組みに対し支援する。	実施済み	地域提案型交付金による農村公園の遊具の修繕 1地区	継続して実施するとともに、区の課題に合わせた交付金事業を検討する。
町内の公園マップを作成し、配布する。	H28実施予定		子育てガイドブックに公園マップを含めて作成し、配布

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
野外の遊び場の整備数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 1箇所	実績	0	0

全体評価	やや不良
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

基本目標3 高齢者が生涯現役で住み続けることのできる環境を整える。

全体の数値目標 (KPI)	指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
	要介護認定を受けていない65歳以上の人の割合	平成31年度 77% (平成26年度:80%)	介護保険事業状況報告	78.8%	—

1 高齢者が生きがいを持って取り組める「しごと」を創生する。

(1) 高齢者の仕事づくりを支援する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 高齢者が自らの能力を活用して社会参加する場の確保を支援する。			
シルバー人材センターの運営を支援する。	実施済み	運営費に対して補助金を交付し支援	今後も継続してシルバー人材センターの運営支援を継続していく。
② 高齢者による物づくり活動を支援する。			
高齢者生産活動センターにおいて物づくり活動を支援する。	実施済み	社会資源コーディネーターを1名配置し、高齢者生産活動部会の支援を実施。新たに1つの部会ができた。既存の部会も含めて製品を道の駅で販売した。	社会資源コーディネーター配置の県補助事業はH28で終了するが、今後も継続して支援を行っていく。
③ 高齢者による農業を支援する。			
定年帰農者の農業機械の購入に対して支援する。	実施済み	補助制度自体は設けているがH27は利用者がいなかった。	引き続き支援を行う。(H28 3件申請あり)
自宅の畑で取れた農作物等を道の駅等で直売しやすい体制を整える。	検討中		栽培管理した安全な農作物の販売が基本であり、今後要検討
高齢者が集まって野菜作りができるような場を提供し、そこで取れた野菜等を道の駅等で販売する仕組みを構築する。	検討中		拠点となるハウス整備等について検討する。
就農の促進を図るため、農地を取得できる下限面積を緩和する。【再掲】			
④ 高齢者による創業を支援する。			
町の行政、商工会、観光協会、金融機関等による連携組織を立ち上げ、助成金、融資、小口投資・寄附等を組み合わせながら、ワンストップで新規創業の支援を行う。【再掲】			

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
65歳以上の高齢者に占める年金以外の所得(農業所得、営業所得又は給与所得)のある者の割合	平成31年 25% (平成26年:約20%)	課税台帳(所得状況の把握) 住民基本台帳(65歳以上の高齢者の人数)	約21%	84%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

2 いつまでも健康で元気な「ひと」を創生する。

(1) いつまでも健康で元気な高齢者の増加を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 高齢者及び若いうちからの健康づくり、生きがいづくり活動に対し支援する。			
介護予防教室や健康教室等を開催する。	実施済み	・二次予防事業(運動機能向上・口腔機能向上)教室、介護予防のための地区健康教室の実施 ・健康まつりの開催 33名参加 ・ノルディックウォーキング教室の開催 6回、延84名参加	・介護予防教室については介護保険制度改正により、H29より介護予防事業の対象者や内容の見直しを行う。 ・健康まつりやノルディックウォーキング教室については、ミズノと連携することで内容の充実を図る。
各地区での健康づくり事業や、生きがいづくり活動に対し支援する。	実施済み	・元気クラブ活動への補助(27団体) ・長寿クラブ活動への補助(28団体) ・ぽかぽかサロンへの送迎補助 など	地区の実情に合わせた住民主体の活動支援を支援する。
介護予防サポーター、認知症サポーターの養成を図る。	実施済み	介護予防サポーター・元気クラブボランティア研修 2回。 ・認知症サポーター養成講座 7回。(小学校3校・地域1・職域3)	認知症サポーター数の増加により認知症への理解を広げる。
介護予防や生活習慣病の予防、健診の受診等についての啓発を図る。	実施済み	公報や個別案内の送付により啓発を行った。 (H26特定健診受診者908人(受診率55.7%))	未受診者への勧奨等強化し、受診率の向上を図る。
「やまがた健康マイレージ」の協賛店の拡大を図る。	実施済み	1事業所協賛店が増えた。(H27 2→3事業所へ)	商工会等への依頼を継続し、協賛店の拡大を図る。
町内における健康づくり事業や生きがいづくり活動について体系的に把握できるパンフレットを作成する。	H28実施予定		高齢者の日常生活支援体制整備の中で、生きがいづくりとなる活動も支援策の一つとして紹介できるものにまとめていく。
在宅医療と介護の連携を推進する。	実施済み	寒河江市西村山郡在宅医療介護連携推進室を設置。町内在宅医療介護の合同学習会を実施。	在宅医療介護の連携による、切れ目ない支援の検討と体制整備を図る。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
要介護認定を受けていない65歳以上の人の割合	平成31年度 77% (平成26年度:80%)	介護保険事業状況報告	78.8%	—

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 高齢者がいつまでも住み続けることのできる「まち」を創生する。

(1) 雪かきの負担を軽減する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 地域における除雪体制を支援する。			
地域住民の共助により雪かきに取り組む地域を支援する。	実施済み	民家等の雪対策事業(交付金) 32地区(129件)	継続して実施するとともに、より活用しやすい制度の検討を進める。
住民のみならず、ボランティア、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による除雪等の生活支援サービスの提供を図る。	検討中		H28に生活支援体制整備事業のための協議体を立ち上げ、生活支援サービスの検討を開始する。
② 除雪費用の負担を軽減する。			
一定の要件を満たす地域又は個人が委託する除雪業者への費用に対して支援する。	実施済み	・民家等の雪対策事業(除雪業者への費用に対する補助金) 3地区(5件) ・民家等の雪対策に取組めない地域の高齢者個人に対する補助該当者なし	継続して実施するとともに、より活用しやすい制度の検討を進める。
③ 除雪の負担の少ない地域環境を整備する。			
流雪溝を整備する。	実施済み	大谷地区の一部で実施済	H28は和合地区都市再生整備事業で実施予定。今後も水利の確保が可能な場所で事業を展開することが望ましい。
住宅の耐雪化に対し支援する。	H28実施予定		持家住宅建築奨励補助金において、屋根の融雪化を図る場合の補助金の上乗せを行う。

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
流雪溝を整備した地区数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 2地区 (平成26年度:1地区)	実績	1地区	50%

全体評価	概ね良好
------	------

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 高齢者がいつまでも住み続けることのできる「まち」を創生する。

(2) 高齢者の足を確保する。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① デマンドタクシーの運行			
各地区と宮宿地区を結ぶデマンドタクシーを運行する。	実施済み	町内42区を対象に往路、復路5便を運行 利用実績:13,791人 和合4区、大谷1～7区、栗木沢、真中。中沢区の14区は山交バス 対応、復路1便のみ運行	42区については、継続して実施する。 山交バス対応区のデマンド運行の増便を検討する

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
平成27年度から平成31年度までの5年間のデマンドタクシーの年間平均延べ利用者数	13,400人 (平成26年度:13,323人)	実績	13,791人	102.9%

全体評価	良好
------	----

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価・検証シート

3 高齢者がいつまでも住み続けることのできる「まち」を創生する。

(3) 高齢者の日常生活を支援する体制の充実を図る。

施策	実施状況	H27事業実績	今後の方針
① 訪問サービスの充実を図る。			
道の駅において、移動販売サービスを実施する。	実施済み	町内5集落で実施中	今後販売区域を広げる予定
訪問理美容サービスの費用に対し支援する。	実施済み	訪問理美容サービスの費用に対し支援(7件)	継続
配食サービスを実施する。	実施済み	ふれあい給食(週2回:水・金)を社会福祉協議会へ業務委託	継続
在宅医療と介護の連携を図る。【再掲】			
② 多様な主体による生活支援サービスの提供体制を構築する。			
住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による地域の高齢者への生活支援サービスの提供を図る。	H28実施予定		H28の生活支援体制整備の協議体では、ニーズの把握と、既存のサービス洗い直しと整理により、見える化をはかることを目標に取り組む。
地域の協働を支援する協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置を行う。	H28実施予定		H28に社会福祉協議会と協力し、生活支援体制整備のための協議体を立ち上げる。生活支援コーディネーターについてもH28中に配置予定。
③ 高齢者向け集合住宅の整備を図る。			
高齢者向け集合住宅の整備に対し支援する。	検討中		どういった形の高齢者向けの住宅が良いのか、運営形態も含め検討
④ 地域で高齢者の災害時の避難支援を行う体制を整備する。			
要援護者に対する各地区における避難支援体制の構築に向けた研修会を開催する。	H28実施予定		H28中に研修会を開催予定

<数値目標(KPI)>

指標	指標値	指標値の基礎データ	平成27年度の実績値	達成度
移動販売サービスを実施する事業所の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 1箇所	実績	1	100%
住民主体による高齢者への生活支援サービスの提供体制の構築に取り組む地区の数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 3地区	実績	0	0
要援護者に対する避難支援体制を組んでいる地区数	平成27年度から平成31年度までの5年間で 全地区	実績	0	0

全体評価	概ね良好
------	------